

肺がん検診の精密検査方法に関する調査結果

1. 調査について

(1) 調査期間: R4.10/13~27(2週間)

(2) 回答上の注意

●適切とは言えない検査とは: 肺がん検診の精密検査(二次検査)として、CT 検査または気管支鏡検査以外の検査が行われること。

●令和3年度に実施した肺がん検診について回答

●回答上の注意: 対象となる肺がん検診は以下のとおりです。

・エックス線検査 ※結核検診を活用して実施しているものも含む ・CT 検査

●集団・個別検診の区別はせず、全て記載してください。

(3) 主な調査内容

①要精検と判定された場合の精密検査について、どのような検査が実施されたか把握しているか。


②精密検査実施機関に対し、不適切な精密検査が行われたと把握した場合に、改善指導しているか。

2. 回答について

(1) 回答数: 62 市町村(77市町村中)

(2) 回答の詳細

① 要精検と判定された場合の精密検査について、どのような検査が実施されたか把握しているか

| | | | | |
|-----------------|--------|---|-----------------------------------|--------|
| 把握している | 48 市町村 |  | CT 検査または気管支鏡検査 (エックス線検査の併用を含む) | 1951 件 |
| 把握しているが、集計していない | 10 市町村 | | エックス線検査のみ | 212件 |
| 把握していない | 5 市町村 | | その他 | 92 件 |

【その他】肺生検、その他有所見部位に対し有用な検査(腹部・甲状腺エコー、マンモグラフィ、胃内視鏡検査など)15 件 ※肺がん疑い以外に他疾患の疑いで精密検査もあるため

未記入・検査方法不明 21 件、超音波検査 15 件、治療中のため精検不要の者8件、

直接 X 線検査5件、喀痰細胞診2件、生検 2 件、触診1件、過去所見2件、CXP1件、PET4件、

デジタル1件、トレッドミル検査1件、以前の画像と比較 4 件、診療のみ2件、その他 3 件、

ECG1 件、FNA1件、腫瘍マーカー3件

② 精密検査実施機関に対し、不適切な精密検査が行われたと把握した場合に、改善指導しているか

| | |
|-------|------|
| している | 5 件 |
| していない | 51 件 |

(3) その他の回答(抜粋)

・一次検診のCT検査で他疾患(例えば乳腺疾患や循環器疾患など)が見つかった場合には、精密検査として超音波検査を行ったりすると思われませんが、医師が必要として行った検査に対して町として適切でない検査か否かを判断するのは難しいように感じます。

・受診者全員へ渡すリーフレットには精検方法としてCTやBFのことを記載したものを作成していますが、精検対象者への通知には、町で別紙を作成し呼吸器科を受診するよう案内しています。